

福生市及び関係機関の御尽力により河川敷には公園、グラウンド等が整備され、あるいは公害個所の浄化等健康で住みよい環境づくりが進められていることに対し私たち住民は、感謝の念と将来への展望を期待しながら見守っているものであります。

田園地区隣接河川敷の整備については、種々困難な問題が残され、障害となつていたり伺つておりますが、当該地区の整備につきましては、次に述べる私たち住民の趣意、願望を参考とされ、より一層の御理解と御尽力をお願いするものであります。

田園地区は、自然環境に恵まれ、整備された住宅地に、新しいまちが広がり、私たち住民は、新しいまちづくりと青少年の健全育成を願つて住みよい環境づくり、人づくりに微力ながら努力しております。

多様な価値観を持ち、多様な生き方をしている人々が仲よく、平和に共存するということは、人類普遍の課題であり悲願であると考えます。この地域に移り住んだ私たちにとりましては、それは、今日的課題であり、それがそのまま私たちの生甲斐や、よりどころを求める新しいふるさとづくり、まちづくりでありまた、国づくりの課題であると考えます。

そのためには自然環境をよりどころにしながら、老若男女はもちろん肉体的、精神的なハンディキャップを持つ等さまざまな人が、それぞれの役割を持ち、生甲斐を持つて無糸

件に触れ合うことができる場、いわゆる自然公園をつくることが切実に求められているわけであります。

ここに自然公園ができたなら土に親しみ、水に親しみ、草花に親しみ、野鳥に親しみ、さらには自ら土を耕し、野菜や植物をつくるとか、また野鳥、小動物が安心して住める環境づくり等々の体験をおして、自然の恩恵、尊さ、動植物等生きるものの生命の尊さを知るとともに、ひいては社会参加、社会教育の場と機会を提供することにもなるのではないでしようか。

また、北田園には市内で唯一の水田も二、三枚あり、毎年市内の小学生が田植の見学に訪れることは周知のことです。このような田んぼも含めて自然公園が計画されるなら素晴らしいことでもあります。

このような人と人の触れ合いの場となり、人と自然の調和する自然公園の建設は、やがて二十一世紀を迎える福生市の人づくり、ふるさとづくりに寄与するものと考えられるものであります。

以上の趣意を実現するため田園地区隣接河川敷の自然環境を生かしながら

- 一、 自然植物園
- 一、 野鳥公園
- 一、 菜園等の耕作地
- 一、 青少年のミニキャンプ場
- 一、 運動広場
- 一、 自然遊歩道

等諸要件を備えた自然公園の建設を陳情いたします。

昭和六十一年十一月十八日

陳情者代表

福生市南田園三一四一〇

南田園三丁目青少年問題地区委員会

代表 松 尾 四 郎 印

福生市志茂一―二

志茂第一青少年問題地区委員会

代表 清 水 栄 一 印

福生市福生五〇四

志茂第一町会長

設 楽 武 男 印

他六人

福生市議会議長

森 田 治 男 殿

陳情第六十一―十二号

町会会館の補助等に関する陳情書

貴議会におかれましては、市発展のために日夜努力を重ねられておられるとともに、当協議会の運営に当たり平素から深い御理解を賜り厚く感謝申し上げます。

現在、市内に三十五の地区に町会または自治会と称した組織がありますが、それぞれが地域住民の親睦を図るための行事はもとより、地域の環境衛生、交通安全、防犯、防災等の諸対策に対する活動を行っておりますが、その活動の拠点として使用しておりますのが各地域の中にある会館等であります。このうち地域住民が協力して建設し、自主運営をしている会館が全体の約六〇パーセントですが、昨今の経済状況の中で会館の自主運営が大変困難を来しております。

また、用地に対する地代の高騰や借地権の契約更新時における更新料等の問題が生じ、関係町会においては資金調達の面で大変苦慮しているのが現況であります。

地域によつては、それぞれ市の財源により建設された地域会館を利用できる利便性を有する町会もありまして、市民全般の格差の解消等を含めた格段の御尽力、御配慮を賜りたく、陳情する次第でございます。

一、会館運営の維持管理費の市補助をお願いしたい。

二、会館建設費及び修繕費に対する市補助率の引き上げをお願いしたい。

三、自営の会館の土地に対し、事情の許す限り順次市有地として取得後市民のための地区会館として設置されるようお願いしたい。

昭和六十一年十一月二十七日

陳情者代表

福生市牛浜五一番地

福生市町会長協議会長

佐藤 慶 二 印

他 三十四人

福生市議会議長

森 田 治 男 殿

陳情第六十一十三号

首都圏中央連絡道路建設促進に関する陳情書

一、陳情の要旨

首都圏中央連絡道路の建設を促進することを要望する意見書を建設大臣、東京都知事その他へ提出していただきたく、お願い申し上げます。

二、陳情の理由

近年、多摩地方はベッドタウンとして急激な人口の増加を示しております。しかし、その経済的基盤である社会資本は必ずしも十分なものとは言いがたく、将来多摩地方が二十三区の衛星都市から自立した中核都市として大きく変革、成長を遂げるためには、遅れている社会資本の充実が最大の条件となります。

なかでも、幹線道路網の整備は最も重要な課題と考えられますが、多摩地方においては特に南北方向の道路整備が遅れております。現在唯一の南北方向幹線道路ともいえるべき一般国道十六号は深刻な交通渋滞が恒常化しており、このため通過車両が一般生活道路にまで進入して、沿道住民の生活環境を脅かし交通事故が増大しております。また、この渋滞は多摩地域の経済活動及び社会活動に重大な支障を来しております。

将来、多摩地方の諸都市が独立した中核的都市として成長・発展するための基盤として、また、現在抱えている交通上の諸問題を根本的に解決する対策として、首都圏中央

連絡道路は非常に大きな役割を果たすものと確信いたし、この建設促進を強く陳情するものであります。

首都圏中央連絡道路は、整備の急がれる環状道路のうち、最も外側の半径四〇―五〇キロメートルの圏域を結ぶ自動車専用道路であり、このうち都内区間二二・五キロメートルは多摩地域を南北に結ぶものであり、現在、都市計画法に基づく計画決定を行う作業中であります。この間、都条例等に基づく環境影響評価手続も進められており、既に評価書案の地元説明も完了しております。

評価書案には、自然環境・生活環境の保全を図りつつ道路建設を進めていくため諸般の対策が立てられており、環境との調和を十分考慮した計画であると判断できます。つきましては、首都圏中央連絡道路の一日も早い完成を願う各分野からの意見を結集して、ここに建設促進を陳情いたします。ついては、建設促進を要望する意見書を建設大臣、東京都知事、その他へ提出していただきたくお願い申し上げます。

陳情者

福生市志茂一二〇

福生市圏央道を待ち望む市民の会

山下 光 一 印

福生市議会議長

森 田 治 男 殿

福議発第二百六十一号

昭和六十一年十二月 三日

福生市議会議長

殿

議案説明員の出席要求について

昭和六十一年第四 回福生市議会定例会に御出席くださるよう、地方自治法第二百一
条の規定により要求いたします。

なお、議事日程及び議案写しを別紙のとおり送付いたします。

一 日	時	十二月 九 日 (火)	午前十時
二 場 所	福生市議会議場		

昭和 61 年度
第 2 回

定期監査報告書

企画財政部

企画財政課

渉外担当

調整担当

市史編さん室

福生市監査委員

写

昭和61年度
福監発第 2471 号
第 2 回
昭和61年12月5日

定期監査結果報告書

福生市長

田村 匡 雄 殿
福生市議会議長

森 田 治 男

2 監査の範囲 福生市監査委員 山下 久 吉印
同 村 尾 栄 次印
昭和61年4月1日から昭和61年8月31日まで

行された財務に関する事務

3 昭和61年度第2回定期監査の結果について
(報告) 9月16日から昭和61年10月23日まで

4 監査の方針
地方自治法第199条第3項の規定により定期監査を行つたの
で、同条第8項の規定に基づきその結果を次のとおり報告します。

1 監査の目的
いて、適正かつ効率的に執行されているかどうかについて、主
として次の事項について監査を実施した。

1 企画財政課

ア 予算の執行状況について

イ 一般・特別会計の財政運営について

ウ 基金の運用計画について

号 174S 第41号

日 2 月 5 日 平成 10 年

(3)

市長

田 林 田

通

市長会議員

田 森

市長 山 不 人 吉

同 林 昇 大

平成 10 年 5 月 2 日 市長会議員

(岩井)

市長会議員 田 森 田 林 田

市長 山 不 人 吉

昭和 61 年度
第 2 回

定期監査結果報告書

I 監査の概要

1. 監査の対象

企画財政部

企画財政課・渉外担当・調整担当・市史編さん室

2. 監査の範囲

昭和 61 年 4 月 1 日から昭和 61 年 8 月 31 日までの間に執行された財務に関する事務

3. 監査の実施期間

昭和 61 年 9 月 16 日から昭和 61 年 10 月 23 日まで

4. 監査の方針

監査の実施にあたっては、監査対象となつた企画財政課、渉外担当、調整担当、市史編さん室における事務が法令等に基づいて、適正かつ効率的に執行されているかどうかについて、主として次の事項について監査を実施した。

(1) 企画財政課

ア 予算の執行状況について

イ 一般・特別会計の財政運営について

ウ 基金の運用計画について